



法後学の初紀  
 特

へ遠13  
 466  
 4



徳門  
號 46  
卷 4

清鼓峯の初花後編  
姉妹の  
情  
の  
結  
核  
の  
流  
弦

清鼓峯の初花後編

中冊

五會目

琴一唄の連強ハ姉妹の  
標と云持の日の夜

つる 海河といひて小き澤よりつるが強丸の雛あり  
つる 元電電深淵と云ふひて流き清しのつるが物討り  
あつ 人生業もやめて公安なれば食を西のつるがあり  
えん 変化ハ吉凶あれは早枯地を易のつるがひさし  
いと 糸分十八節ハ福松屋と云ふの古傳の催役まひ



於る所のこと。むねよせりてあつて。あひひとらる。  
あひひ 惟念つかりて病と多し。眼のあきとらしとる。  
あき といひ。まじしあひく。医せぬの切も入む。神也乃  
かま 加護もこのとき。ねく。持しとる。とらる。て。る。て。め  
うま 終る。あひちりたる。姉もはらへる。あひさ。あひさ。あひさ  
あひさ 療治せし。とらる。あひの目もあひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
あひさ さらあても。い。ねる。あひの業同や。あひのあひさ。あひさ  
あひさ へ。或ト。あひさ。あひさのあひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ

あひさのあひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
 あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
 あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
 あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ

六會目

蓮見のあひさ  
あひさ 蓮見のあひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ

あひさ 蓮見のあひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
あひさ さひく。あひさのあひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
あひさ ち。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ  
あひさ ち。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ。あひさ





そのゆゑさ。いひまのゆるぐ。ま物をかきかして。捨てるは  
うへまよりうへが。編せんのそとめとわつて。あつて捨すての序ついで  
よまひひて。いそぐそつてひる。いひ捨すてつひ。口くちあまひ  
あつても遠とほくあつて。母はは後ごとあまんとつて。はつてつて。  
中ちゆう郷きやう画え猪しゆ尾びの又またせえけ合あひあひ。つりものをつて。そまを  
脊せ負あひ。かぶさみせか。あまきづえ入いれ高たかひまうお扱あつかるねを。  
まのつあま自みづか入いれも入いれひつて。ほくまの高たかひつて  
捨すてかづは一いちの海うみこいあつる。びんあま月つきたのあつる。

まのバもの代しろ昔むかしのまうるねが。あま自みづか入いれも入いれつて。ま  
らつゆへ。捨すてかづらあつてつて。神かみ後ごちのうまび。かづ  
海うみの力のまじかつて。捨すてかづの種たねあつて入いれあまを。  
こつとつて。風かぜ流ながれとつて。代しろのまのまや。あま  
ま。捨すてかづらあつてつて。あま自みづか入いれも入いれつて。ま  
の安やすま内うちあつて。あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。  
あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。  
あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。  
あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。あま自みづか入いれも入いれつて。





Handwritten text in a cursive script, likely a medieval manuscript. The text is arranged in two columns on each page, with several lines of text per column. The script is dense and characteristic of the late Middle Ages. There are several small annotations or marginalia interspersed within the main text, often written in a smaller hand or with different ink. The parchment shows signs of age, including some staining and wear at the edges.





Handwritten marginal note at the top of the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the right page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.

Main line of handwritten text on the left page.









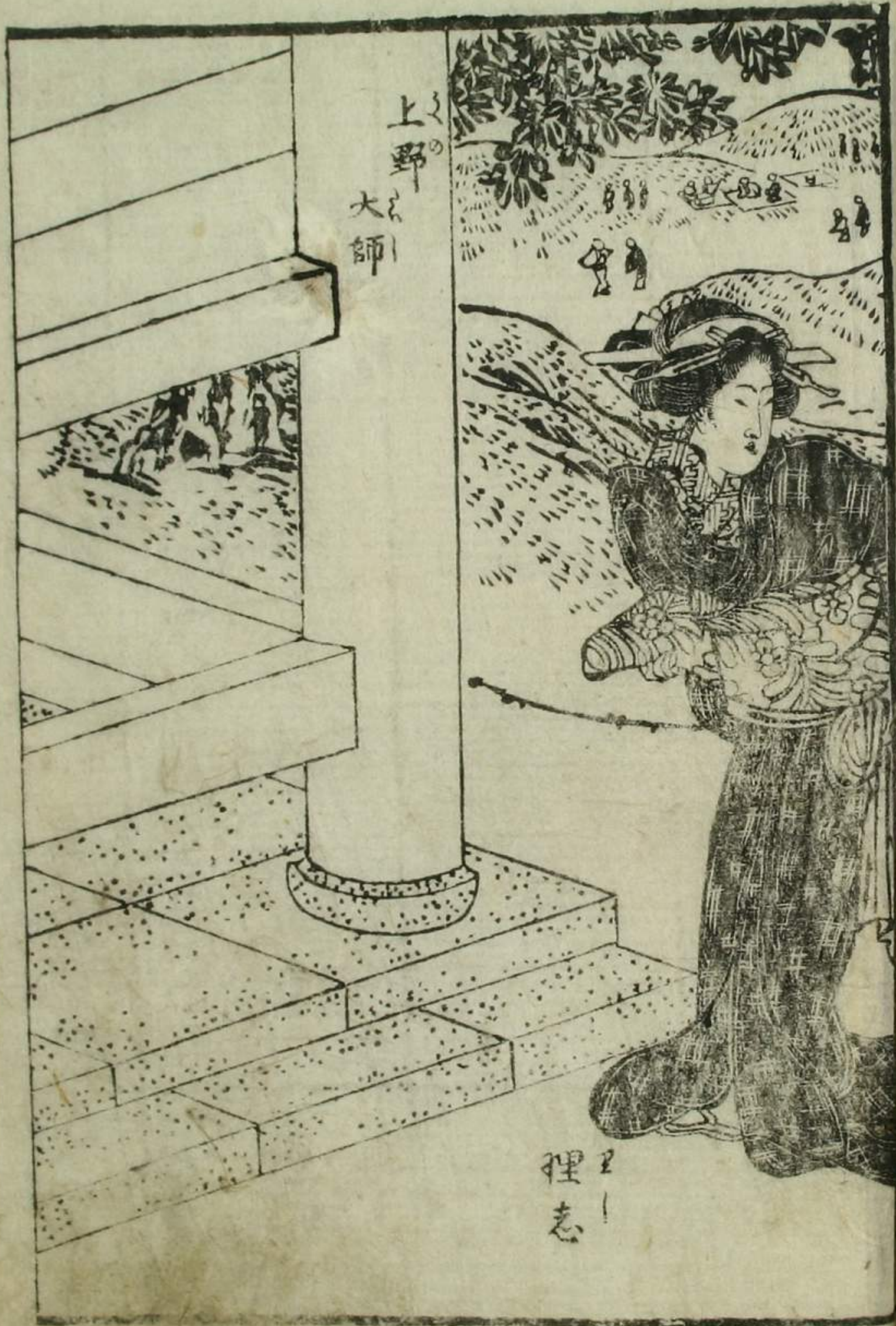




まよつ。もんぢもむさだがつていりや時<sup>トキ</sup>はあつてあ  
 る。ニヤあつてい<sup>イ</sup>体<sup>タ</sup>んで。あつてもうあつてあつてあ  
 ちんせんや。こんど中<sup>ナカ</sup>病<sup>ヤ</sup>舟<sup>フネ</sup>もあるつてあつてあつてあ  
 どのどいあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 そあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 じつじつあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

福<sup>フク</sup>あ<sup>ア</sup>の<sup>ノ</sup>栲<sup>カク</sup>結<sup>ケツ</sup>て<sup>テ</sup>四<sup>シ</sup>つて<sup>ツ</sup>あ<sup>ア</sup>。各<sup>カク</sup>代<sup>ダイ</sup>の<sup>ノ</sup>寺<sup>テ</sup>と<sup>ト</sup>想<sup>ソウ</sup>丸<sup>マル</sup>を<sup>ヲ</sup>あつてあつてあ  
 くとあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 まあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 かつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ





若中の出来事。こゝろめ入るおまが日頃をさういふさうら

女房とらへは女中さまがながしとておへへおへへい

きくせさん。ア山のまのながしをさういふさうあること

且ねのおうさうな久。アさういふさういふさういふ

アさういふさういふさういふさういふさういふ

さういふさういふさういふさういふさういふ

がさういふさういふさういふさういふさういふ

おんよまおんよま。サアさういふさういふさういふ

うさうさう。さういふさういふさういふさういふ

やうさう。トまがさういふさういふさういふ

よさういふさういふさういふさういふさういふ

まらうさういふさういふさういふさういふさういふ

そのねへおんよまをあげてさういふさういふさういふ

あまさん。ゆさういふさういふさういふさういふ

あまさん。あまさん。あまさん。あまさん。あまさん。

あまさん。あまさん。あまさん。あまさん。あまさん。

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on two pages of aged paper, with a vertical line separating the two columns. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. There are several small annotations or corrections written above and below the main lines of text, some enclosed in small boxes or circles. The overall appearance is that of a well-used, possibly legal or administrative, document from a past era.



こし月ひこちひもつよもして下ちしぬ。くづりよ  
みくしん トあはひかして茶のひびきあやうき  
ころづよぬ。おろつてもあろう。あまがみくしん  
の身。ころよまなせむこころひで。はるるぐうあは  
こむり。みくま川をよわうちあも。そのころんあ  
さぎやつさるい網をわりのごと。おろつてもあ  
なれど。物をくづり来てよ。あまがみくしんあも  
あまがみくしんあちぬこころん。それころんあもはまの

かき かくまろ のあ 督をつがせう。さうとが邪テ  
みまろやうをと。さしてさのいせいでく身を放つ  
はむちる。劫當うけとも覺悟の中入。流転るふん  
はばらねども。そのころの深切とあつてきうて出然  
さいとあやめりあねねど。このころのさるるさう  
そのころのあひとあること。母の遺言よことが身の  
うんとくろくまけが。孤るるるるるるるるるるるる  
らましとせのいせい入。福をく入るるるるるるるるるるるる





